

恥辱なる小説



ア
ナ
タ
ご
め
ん
な
さ
い

新妻はメス
奴隷2

お断り

こちらは、『新妻はメス奴隷2ゝアナタごめんなさい』のお試し版になります。

尚、本作品は販売時におきまして、改変の可能性がございます。その点は、十分ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ご注意

ここに掲載されている物語は、全てフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、一切関係ありません。
本書のコピーを固く禁じます。

登場人物紹介

【三橋優子（みつはし ゆうこ）】

B 84 W 58 H 86 二十七才

本作品のヒロインであり、結婚して半年の新妻。

大学を卒業後、中堅規模の商事会社に事務職として入社するが、同じ社の営業部門にいた秋伸と知り合い結ばれる。

成熟した女性らしい魅惑的な肢体に、どこかあどけなさを残す美顔。

結婚後四ヶ月で、夫の秋伸が子会社に出向することになるが、その間、留守を任された優子を、自宅に侵入した元上司の山波がレイプする。

更には、身体を奪われた恥ずかしい映像をネタに脅迫され：

【三橋秋伸（みつはし あきのぶ）】

優子の夫であり、現在二十九才。中堅規模の商社に勤めている。

妻の優子とは職場結婚で結ばれたが、新婚生活が始まった矢先に、子会社に出向を命じられる。

本人曰く、やりがいいのあるプロジェクトとのことで張り切っ
てはいるのだが……

学生時代からラグビー部に所属していた影響か、ガッツ溢れる好青年である。

【山波哲司（やまなみ てつじ）】

優子が商社に入社した時の上司であり、現在は、夫である秋伸の上司に収まっている。

四十代前半ながらも、社内ではやり手と評判の社員であり、ゆくゆくは執行役員という噂さえある。

面倒見が良く、優子も職場の上司として尊敬していたのだが、夫の秋伸が不在中にその彼女をレイプし、自分好みの奴隷妻へと調教を開始する。

目次

第一章 奴隷妻の身だしなみ

第二章 夫婦の寝室は、奴隷妻の喘ぎに染められて

第三章 膣腔にバイブを、アナルには夫の肉棒を

第四章 奴隷妻は、メス犬奴隷

第五章 夫の寝息を聞きながら新妻は……

第六章 支配される悦び

第二章 夫婦の寝室は、奴隷妻の喘ぎに染められて

(一)

優子にとって、一番恐れていた時が迫ろうとしていた。

新妻の食事をたらふく食べ終え、風呂にまで浸かった山波が、肩を落とした優子を引き連れて寝室へと向かったのである。

白い裸体に首輪を詰めさせられ手枷まで付けた奴隷妻は、長さが1メートルはあろうかという鎖のリードを男に引かれたまま階段を昇っていく。

(いつそのこと、この階段が無限回廊にでもなればいいのに) 虚しい願望は、残りの段数が減るに従い悲嘆な絶望に置き換わる。胸を反らせて進む山波の後ろで、優子の目に無限回廊の終点が現れる。

「ふーん、はあぁーっ……三橋君とのお愉しみの匂いはしないな。まあ、昨日も一昨日も、優子とオマ○コしたのは僕だからな。はははっ」

寝室のドアを開けた途端、山波の面白くない声が響いた。

優子は聞く気にもなれずに部屋の端で佇むと、主のいないダブルベッドを見つめた。

「おっ！　こんな処に……ずいぶんと買い込んでいるじゃないか。パンティーも、ブラジャーも。ふーん、まだ結婚半年だというのに、このパンティーはいやらしいな。お尻のところがTバックになってるぞ。へえ、こっちはシースルーか。これだと穿いたままで、恥ずかしい毛もオマ○コも丸見えつてやつだな。ん、まだ有るぞ。はーん、こいつは生理用ショーツか。この股の処にナプキンを貼って……生理の血は見えんな」

「お願いです。あまりジロジロ見ないでください」

色とりどりのランジェリーを漁り、時には変態染みた奇声まであげる山波に、優子はぼつりと呟くように懇願する。

決して声を荒げたりしない。首輪と繋がった鎖をジャラジャラ引いて、男の腕にすがろうともしない。

昨日、一昨日と、その前の週も、秋伸と優子の二人だけの寝室にズケズケと踏み込んだ山波によって、二人だけの愛の空間を汚されたのだ。

ストーカーのような目で夫婦だけの秘密を探ろうと、引き出しを開け中身を掻き回し、優子が記していた日記に目を通し、挙句には小箱に潜ませていた避妊具まで持ち出して、彼女の前に見せびらかせて。

もう、懲り懲りだった。

散々、恥ずかしい痴態を晒し、女の秘部にペニスまで受け入れたのだ。今更になつて洗濯を終えた下着くらいを覗かれても、どうってことはない。

そんな開き直りの気分を優子は感じていた。

「優子、三橋君とのツーショットな写真があつたろう？ それをここに置いてくれないかな？」

その矢先だった。山波は色彩豊かなランジェリーを床に撒き散らせたまま、思いもよらないことを口にした。そして、ベッド脇にあるサイドテーブルを指差していたのだ。

「確か、えーつと……湖の畔かどこかで、優子の肩に三橋君が両手を乗せた写真で……確か、僕が初めて寝室に入った時には、飾っていただろう。この辺りにさ」

「あ、それは……その……」

思わず口ごもる優子に、山波はニヤリとする。

彼女の心根は、この男に読み透かされたのだろうか。同時に、些細な変化も見逃さない異様な観察力にも、背筋が凍る。

「せっかく三橋君の奥さんとこのベッドで愛し合うんだ。何も知らずに出向中の彼にも、せめて大好きな奥さんが乱れる姿を見せてあげないとね」

「お願いします。それだけは許してください」

「ダメだね。キミは僕に従うしかないんだよ。さあ、写真立てをそこに置いて」

見つめてくる山波は柔和な顔をしていた。けれども、その目は全くといっていいほど笑ってはいない。

「こんなの、ひどすぎる……」

拒む優子を押し退けて、山波が寝室に立ち入ったのは、先週の木曜日のことだった。

咄嗟に、写真立てだけは隠したつもりだったのだが、まさか見抜かれていたとは……

（ごめんなさい、秋伸……）

手枷が巻き付いた右腕が、ドレッサーの引き出しへと向かった。

やるせない自己嫌悪。それが身体の芯から放射するように全身へ拡散する。

秋伸の笑顔は輝いていた。それにも増して、優子の笑顔も幸せに包まれていた。

「ふふふっ」

山波が征服者の鼻息で笑っている。

優子は写真立てを抱きかかえるように、揺れるバストに押し当てた。もちろん、裏向きにして。朽ち果てかけた女の意地を、それでも見せ付けたくて。

そして、二人だけの思い出をベッドと向き合わせて置くと、新妻は背中を向けた。お似合いなカップルから立ち去るように、張り詰めたシーツの上へと身をのせた。

スプリングを軋ませながら……

首輪に結ばれた鎖を鳴らしながら……

（三）

「優子、何をしている？ こっちを向くんだ」

山波が呼んでいる。身体を捻って男の顔を見つめれば、自然と、眩しすぎる笑顔とも目がぶつかるのに。

「おい、聞こえないのか？ 僕はキミの夫なんだよ」

「はい……申し訳ありません……」

でも仕方ないことなのだ。

優子は『夫』という単語を矢尻のように尖らせて、胸を突かせた。その痛みが消えないうちに、おひざをしたまま身体を反転させる。

「これは用済みだな」

胡坐をかいて座る山波が、優子の首から垂れさがる鎖のリードを外した。それをフローリングの床に放り投げた。

不規則に触れ合う金属の音が、真夜中に近い寝室全体に響く。近所迷惑になりそうな雑音を平気で立てた山波は、手枷の残された優子の腕を引いた。反らし気味だった上半身が加速を付けて前のめりになり、ポロシャツを着込んだままの胸に抱かれた。

「顔を上げて」

アゴを摘まんで上向かされる。秋伸の普段着に目線がしがみつこうとするのに、男は許さない。

夫とは似ても似つかない、狡猾さが滲み出た顔で待ち構えると、唇だけを摘まんだように突き伸ばした。

「ふむう……むふあつ、んぐ……ぐふうっ……」

タラコを干して乾燥させたようなガサついた唇だった。

それがパツクリと開いて、優子の薄い唇を呑み込むと、触手のような舌が間を置かずに侵入を開始する。夕食の味がする唾液も流し込んできた。

「ちゅぶ、ちゅぶ……はんむう、むちゅっ……」

閉じようと思えば閉ざせたかもしれない。

けれども程よく力の抜けた唇は、山波の舌を難なく受け入れていた。無防備に固まった優子の舌は好き放題に弄ばれ、唾液と唾液はミックスさせられた。

（見てはいけない。目を合わせたらいけないのよ）

優子は胸の中で念じた。

呼吸など合わせた覚えもないのに、絶妙な角度で顔を傾げ合いながら。手のひらの厚みしかない距離で、目と目を合わせて濃厚なキスを続けながら。そしてサイドボードの上から見つめる写真立てに、助けを求めて逃れようとする眼差しを封じ込めさせようと。

「ごほっ、ごほっ……ハ、ハア、ハア……」

舌と舌を絡め合わされたデープキスは、結ばれた唇の隙間から唾液が溢れた時点でお開きとなった。

男の匂いを嗅ぐのが嫌で鼻呼吸を止めていたツケが、ここに来て跳ねかえる。飲み干せなかった唾液が、どつと口の外へと吐き出されて、優子は激しく咳き込んでいた。

涙もポタポタと垂れて、横座りをさせた太股の付け根に付着した。女と男の哀しみと愉しみを混ぜ合わせた液体が、その肌の奥へと吸い込まれて、こっそりと覗いた陰唇に触れるのを感じた。

「ほら優子、見てみなよ。こんなに大きくなってるぞ」

「嫌……見せないで……」

口づけは、性行為の始まりを意味する。

山波はそれを実践するように、座ったままでズボンを脱ぎ去っていた。ついでのように、白いブリーフもそそくさと引き脱ぐと、赤黒く変色したペニスを自慢げに晒した。

それは充分すぎるほど勃起し、エラの張る切っ先からは、先走りの液体まで垂れ流している。

（お口で咥えるの？ それとも押し倒されて、そのままアソコに？）

一分も経たない未来を、優子は勝手に妄想する。

頭を上下に振ってフェラチオをする姿を。仰向けになった優子に山波が覆い被さり、正常位で繋がる姿を。

「優子、聞こえなかったのか？ ほら、僕のチ○ポを挿れるんだよ」

向かい合う山波が、両足を伸ばしたままで優子を呼んでいた。股間の中心で、穢れの対象みたいなペニスを勃たせて、新妻の花弁との合体を待ち受けていた。

（アソコに入れろって……また、この人の上でセックスさせられるの？）

山波に身体を捧げたあの夜の事を思い出していた。脳裡に焼きついた消せない記憶である。

「う、うう……お願いします、目を逸らせてください」

優子はのろのろと立ち上がると、山波を跨ぎながら声を漏らしていた。

口にしたところで、男の視線が途切れるとは思っていない。それどころか、挿入される瞬間を凝視されるのに違いない。跨ぎきり腰を下ろしながら、案の定、男の目を意識した。

急角度でヒザが曲がり、太股を大胆に捻げたその付け根を、赤く充血した女の秘部に、舐めるような視線があることを。ちゆく、ちゆく……ずる、ずる……ずりゆうつ……

「んはあ、硬い……ふう、んんっ、ああああっつ」

そそり立つペニスは、優子の膣肉を掻き分けそのボディを沈めた。背中 of 神経が、いやらしい刺激を脳にまで伝えて、強張っていた表情筋が緩むのを止められなかった。

「ふふふっ、チ○ポをオマ○コに挿したたげで、もう感じているんだね。スケベ妻だよ、優子は」

「違います。私は、そんなこと……」

山波のペニスをヴァギナが根元まで咥え込み、その男の腹の上に両手を突いたままでは、説得力のない反論に聞こえる。しかし、可能な限りで女の恥じらいは見せ付けなくてはならない。

愛する人が、こちらを覗っているのである。写真立ての中に

は、清楚な頃の新妻が控えているというのに。

(四)

「優子、そのまま両手を後ろで突くんだ」

心の動揺が収まらないまま、それでも夜の営みを開始しようとした時だった。山波が優子に命令した。

「だから、僕の腹に乗せている腕を、優子の身体の後ろに。そうそう、ヒザの上に突いて構わないから」

優子は山波の声に従い、両腕を背中に回すと腰の後ろ辺りで支えた。クツションの効いたシャツの上ではなく、骨ばった男のヒザ頭に手のひらを付ける。

自然な形で上半身が斜め後方に引き倒されていた。それにつられて、男性器と女性器が繋がったその部分が露骨なほど露わにされる。

「やだ……こんな格好、恥ずかしすぎます」

そのポーズが完成するにつれ、優子の胸に新たな羞恥心が湧いた。女として看過できない恥辱な姿勢に、目眩まで覚えるほどの衝撃も受けていた。

「はははっ、僕のチ○ポを咥え込んだオマ○コが、よく見えてるよ。ああ、そうだ。三橋君にも観賞させてやらないとな」

「ひいっ！ 嫌あつ！ 見せないで、お願い。あの人にだけ

は……あ、あああつつ……」

口の端を上げて話す男の声は、優子には届かなかった。いや、何を言っているのか理解出来なかった。したくもなかった。しかし、その目の前で山波の身体が僅かに傾いていた。

言葉が届こうが理解しようが関係ない。合わせてはならない人と視線が交わった瞬間、優子は悲鳴をあげた。世間体も忘れて、甲高い声で喉を震わせていた。

（秋伸、お願いよ……見ないで……優子のこんな姿、見ちや、いやあっ！）

体験版はここまでです。

続きは本編でお愉しみくださいませ。

【既刊小説ご案内】

新妻はメス奴隷ゝアナタごめんなさい

結婚式を挙げて半年足らずの新妻が、元上司に乱暴され、その後も性奴隷として調教される！

愛する夫と社内恋愛の末に結ばれた優子だったが、夫が不在の自宅に忍び込んだ彼女の元上司、山波によつて凌辱、身体を奪われる。

その上、セックス時の映像まで隠し撮りされた彼女は、卑劣な男の要求に屈し、性奴隷に堕とされる。

「キミにはこれから、1週間のうち5日間だけ僕の妻になつてもらふ。つまりだ。土曜と日曜は、出向先から戻る三橋君と新婚生活を愉しんでもらい、月曜から金曜は、僕と夫婦水入らずの生活を送ってもらうよ」

総文字数 53057字（本文のみ）

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。

製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

（税抜 400円）

お漏らしする女の子って嫌いですか？

女の子が、オシッコを我慢しながら身悶えるストーリーです。『オシッコのお漏らし』がテーマになっています。

卑劣な少年に脅迫され、トイレに行くたくても行かせてもらえない美少女が、人目を気にしながら、ひたすら排泄に耐え

続けます。

排尿を禁止させられたまま、少年とデートと称して街の散策を命じられます。

我慢に我慢を重ねて、少年の目の前で排尿。羞恥の涙を流します。

作品文字数 46423字（本文のみ）

全編が『オシッコ』『我慢』『お漏らし』『羞恥』『排泄』『脅迫』『オムツ』のキーワードを元にストーリーが展開していきます。

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

（税抜 400円）

美少女奴隷 淫獄の世界

「ふふっ、散歩には首輪とバイブを忘れないようにね」

兄の理不尽な命令に、妹は涙ながらに従わされる！

その彼女の身代わりになった少女もまた、卑劣な罠に！

全裸四つん這い・バイブ挿入散歩、兄妹相姦、ノーパンテニス練習、処女膜喪失バイブオナニー。

総文字数 49671字（本文のみ）

兄にレイプされた智香は、その後も凌辱され続けていた。

狂気が精神を支配する兄に少女は怯え、未熟な肢体を羞恥な責めに差し出していく。

そんな智香の姿に異変を感じたのは、彼女が所属するテニス部の主将である眞希だった。

真相を知った眞希は、智香を救おうと行動を開始する。

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。

尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 400円)

18 / 26

美少女奴隷 淫獄の世界2

実の兄に凌辱され、性奴隷として調教される少女！

その彼女に姉のように慕われる少女もまた、身代わりという罠に掛り性奴隷へ！

全裸露出後背位セックス、ノーブラ・ノーパン登校、ノーブラ・ノーパンテニス、秘処愛撫レズ、乳首綱引き、リモコンローター露出責め。

総文字数 50100字 (本文のみ)

実の兄に凌辱され処女を奪われた智香は、その後も性奴隷として弄ばれ続けていた。

そんな智香の様子に疑問を感じた先輩の眞希もまた、その兄の言葉巧みな罠に掛り、自らの手で処女を奪う羽目になる。

(私が頑張って男を満足させないと、智香が苦しむことになる)

(わたしが辛いことでも我慢してお兄ちゃんとエッチしないと、お姉さまが……)

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜き400円)

美少女奴隷 淫獄の世界3

神聖なテニスコートで凌辱の限りを受ける二人の美少女。眞希と智香。

愛するテニスのため辛い練習にも耐えてきた少女達が、卑劣な罠に嵌り性奴隷に身を落としていく。

ホームレス達による集団輪姦、全裸脱衣テニス、瘤縄渡り、浣腸、膣穴使用集団愛撫奉仕、テニスラケットスパンキング。総文字数 55286字（本文のみ）

「眞希と智香には、この縄にオマ○コを擦り付けたまま、部屋の中を歩いてもらうの。そうねえ、3往復ほどしてもらおうかしら」

眞希は目の前で揺れる荒縄を見つめた。

和樹と美嘉の手により、部屋の壁を橋渡しするように2本の毛羽立った縄が張られている。

そして、その縄にはテニスボールほどの大きさをした歪な結び目が、いくつも設けられているのだ……

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

（税抜き400円）

女教師被虐の涙

生徒からも同僚教師から愛されていた美貌の女教師裕子は、父兄との些細な関係を疑問視され、山奥への分校へと配置転換させられる。

だが、その分校に居座る生徒と教師は、裕子を教師としてではなく、自分達の性処理奴隷にすることを企んでいたのだ！！

輪姦・性器洗淨・リモコンバイブ・秘部山芋責め・極太デ

ルド等々。

総文字数 50143字（本文のみ）

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。
尚、製品版には、既刊小説全てのお試し版も同梱済み。

（税抜 400円）

女教師被虐の涙2

教師と生徒達に『性処理奴隷』として調教されている美貌の女教師裕子。そんな彼女の元を後輩教師である麻衣が訪ねてくる。

だが男達は、裕子に勝るとも劣らない麻衣の美貌に目を付ける。男達の牙が麻衣にも！

バイブ挿入四足歩行・時間無制限集団輪姦・レズ・秘部公開フェラチオ等々。

総文字数 52221字（本文のみ）

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。
尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

（税抜 400円）

女教師被虐の涙3

姉妹を思わせる美人女教師が監禁され、性奴隷に調教される！

更には。彼女達を助け出そうとした孤高な美少女までもが、男達の餌食に！

ダブルデイルド・オナニー、生実演性教育、浣腸フェラチオ、三角木馬等々。

女教師 被虐の涙シリーズ いよいよ完結！！

総文字数 55216字(本文のみ)

囚われの身のまま、『性処理奴隷』として調教される美貌の女教師裕子と麻衣。

連日の厳しく恥辱な責めにも屈しない彼女達に、男達の調教は激しさを増していく。

更には、手を差し伸べる美由紀までもが！

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 400円)

あなたのためなら私は……

夫が勤務中に倒れて病院に……一本の電話が、若き新妻の運命を変えた！

男に騙され連れて来られた館で、新妻は身体を弄ばれた場句、性処理の道具になるよう脅される。

痴態を撮影され、夫の勤める会社まで人質にされた新妻に選択肢はなかった。

夫以外の男のペニスに犯される若葉。

監視カメラに撮影されながらの、夫との愛の営み。露出過剰な衣装での、羞恥に満ちた散歩。

そして毎日のように金山の館に呼び出されての、セックスという名の調教の数々。

同じ境遇の美少女アイドルを巻き込んだの女たちの饗宴は続く。

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。
尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 300円)

あなたのためなら私は……第2部

若き新妻が穢されていく！

可憐なアイドルが凌辱される！

性奴隷として。性処理の道具として。

男に騙され連れて来られた館で、新妻は身体を弄ばれた場
句、性処理の道具になるよう脅される。

痴態を撮影され、夫の勤める会社まで人質にされた新妻に
選択肢はなかった。

夫以外の男のペニスに犯される若葉。

監視カメラに撮影されながらの、夫との愛の営み。

露出過剰な衣装での、羞恥に満ちた散歩。

同じ境遇の美少女アイドルを巻き込んだの女たちの饗宴は
続く。

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。

尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 300円)

あなたのためなら私は……第3部

夫が勤務中に倒れて病院に……一本の電話が、若き新妻の運

命を翻弄する！

連日連夜に渡る男達の過激な調教に、若葉の身体は傷付き、女としてのプライドまでもが引き裂かれていく。

だが、それでも彼女は挫けるわけにはいかなかった。共に耐え忍ぶアイドル玲香のため。

そして、愛する夫のため。

あなたのためなら私は頑張れる。どんなに辛くて恥ずかしいことでも。

美貌の人妻と美少女アイドルが恥辱な行為に泣き叫ぶ。歓喜の涙を流す。

『あなたのためなら私は……』 シリーズ完結作品！

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 300円)

妹はオナペット 前篇

家族のキズナを守るため、少女はその清純な肢体を卑劣な兄に差し出す決意をする。

終わりのない恥辱。壊れそうな心。美少女を羞恥地獄へと落とす幕が開く。

既刊作品『禁忌……叶わぬ想い 前篇』に、新たに立ちキアラを中心とした挿絵を豊富に掲載。

一部ストーリーも編集し直しました。

家族思いの美少女智代が、表情豊かな挿絵として登場します。清純な少女が卑劣な兄のオナペットに転落する過程を、絵と小説の両面からお愉しみください。

本作品はPDFファイルで構成されています。

挿絵枚数 48カット（トップ絵を含む）

総ページ数 縦書き用 105枚

横書き用 95枚

総文字数 35570文字

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。
尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

（税抜 500円）

妹はオナペット 後篇

卑劣な兄の策略にはまった少女は、オナペットになることを
宣言させられる。

翌日から始まる羞恥の満ちた調教の日々。

既刊作品『禁忌……叶わぬ想い 後篇』に、新たに立ちキヤ
ラを中心とした挿絵を豊富に掲載。

ストーリーも大幅編集し直しました。

家族思いの美少女が、表情豊かな挿絵として登場します。

清純な少女が卑劣な兄のオナペットに転落する過程を、絵と
小説の両面からお愉しみてください。

本作品はPDFファイルで構成されています。

挿絵枚数 48カット（トップ絵を含む）

総ページ数 縦書き用 111枚

横書き用 103枚

本作品のみ文字数 41873文字

縦書き用と横書き用の2パターンを同梱いたしております。
尚、製品版には、既刊小説のお試し版も同梱済み。

(税抜 500円)

初恋の人は性処理ナース

アナタにお願いがあるの。ナースをひとりレイプして欲しいの。そうよ、徹底的に犯してちょうだい。彼女が鳴き叫ぶくらいにね。

その夜、僕は行動に移した。

まだあどけなさを残す看護婦さんを、力づくで犯していく。何度も調教して、僕専用の性処理ナースにしてみせる。

『今夜も来てくれたんだ。偉いね、性処理ナースさん』

本製品は、ADV形式のPC用ゲームになっております。

ストーリーは官能小説風。

男を知らない若いナースが卑劣な罠にはまり、調教の名の元に男に犯されていく。

尚、当製品をプレイされる前に、体験版をプレイし、動作確認をお願いします。

テキスト文字数 39000字

任意でのセーブ・ロード可

テキスト消去 背景表示可

音楽あり(MP3)を使用

(税抜 600円)

※お買い求めは、本作品購入サイト様でお願いします。
尚、作品詳細につきましては著者が運営しておりますサ
イト『恥辱なる小説』でもご覧になれます。

<http://chi-joku.red/>